

国際交流委員会主催による遠隔セミナー

博物館での調査研究と UBC での国際 STEM 教育学会

講演者
Prof. David Anderson
University of British Columbia(UBC)

オーガナイザー(国際交流委員)
畑中 敏伸 山下修一
東邦大学 千葉大学 (UBC 客員教授)

1 国際交流委員会の活動

日本理科教育学会の常置委員会の1つである国際交流委員会は、諸外国の理科教育関連学会や理科教育研究者(教師も含む)などの組織や個人との交流に基づき、理科教育国際セミナーの開催などを通じて、学会員へ諸外国の理科教育に関する学習の機会や情報の提供を行っています。その他に、諸外国の理科教育関係学会との交流、理科教育の調査研究、なども行なっています。

2 オンラインの国際セミナーについて

国際セミナー開催のために、委員会予算では海外からの招へいのための交通費はまかなえませんが、これまでは海外から別用務で訪問している研究者に講演や教員に講演をしていただいています。一方で、近年は多くのテクノロジーを使うことができ、海外の学会ではインターネットを介して講演者が会場外から講演する講演も行われています。今回は、国際交流委員会として関東支部大会のセッションにおいて、Skypeを用いて、カナダのブリティッシュコロンビア大学(UBC)Anderson教授とつなぎ、講演していただくこととしました。また、国内の方にもインターネットを介してつなぎ、参加していただくセミナーを企画しました。

3 David Anderson 教授について

Anderson教授¹⁾は、博物館教育と理科教育を専門とし、ブリティッシュコロンビア大学の博物館教育の修士課程長です。UBCのMasters of Museum Education (MMEd) programは高く評価され、British Columbia 州のMuseums Association (BCMA)のThe 2018 Change Makers Awardを受賞しています。日本財団の交流事業によるリサーチフェローを立命館大学で務めるなど、日本との関わりも多く、他のアジア諸国との連携しアジアをフィールドとした教育分野の調査研究もしています。

4 博物館での調査研究

セミナーではAnderson教授の専門の博物館での教育や学びについて話してもらいます。

Anderson教授には、今後の博物館と大学での教育に貢献する博物館教育者の研修や資格に関する研究²⁾、教え方と教育実践を変える場としての博物館の役割³⁾などの、研究成果があります。

5 STEM 教育学会

UBCでは、2020年に国際STEM教育学会が開催されます。

国際STEM教育学会は、これまで5回開催されており、2018年は、11月21日から23日にオーストラリアで開催されました⁴⁾。基調講演、研究発表、ワークショップ、展示など、この開催の様子を紹介してもらい、次回のUBCでの開催の計画も話してもらいます。

6 おわりに

博物館研究や、諸外国で活発なSTEM研究に関する情報を得ることができる貴重な機会ですので、多くの方に参加していただきますようお願いいたします。

国際交流委員会として、遠隔セミナーは初めての試みとなりますので、学会員の皆様には、ご参加いただき今後のセミナーの開催についてのご意見もいただけると幸いです。

註

- 1) Anderson教授について
<http://edcp.educ.ubc.ca/faculty-staff/david-anderson/>
- 2) Anderson, D., (2017). The vital role of the “museum educator”: A call to further professionalize the field. *Journal of Natural Science Museum Research*, 2(1), 55-61
- 3) Anderson, D., (2018). The role of the museums as sites for learning how to teach and change educational practices. In M. Yuasa (Ed.) *Museum Informatics*, Vol.5; Museum and Communication, Chap.2, (pp. 93-124). Tokyo: Jusonbo.
- 4) 2018年の国際STEM教育学会のURL
<https://stem-in-ed2018.com.au/>